

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	美術Ⅰ	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース						
教科書	『美術Ⅰ』（光村図書）		副教材	なし			
科目の概要	ものづくりを通してイメージ展開力を身につける。 作品を見る目を養う。 合評を行い、自己分析をする。			評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
授業内容	1学期 平面作品（マンダラ・手のひら地図等）の制作を通して、描画用具の効果的な技術を身につける。 2学期 立体作品（ユニットボール・民芸品等）の制作を通して空間認識力を養い、組合せ・バランス・発想力を身につける。			学習方法	作品制作だけでなく、作品鑑賞の機会を増やす。		
				備考			
内容	3学期 工芸作品（ペーパークラフト）の制作を通して、表現力や発想力の充実を図る。自他の作品に対しての鑑賞力を深める。						

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	美術 I	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 スポーツコース						
教科書	『美術 I』（光村図書）		副教材	なし			
科目の概要	ものづくりを通してイメージ展開力を身につける。 作品を見る目を養う。イメージ展開力を更に充実させ、応用力を身につける。作品鑑賞力を深める。 合評を行い、自己分析をする。			評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
授業内容	1学期 リベット人形、行事絵画の制作を通して正しい道具の使い方を学ぶ。 2学期 オリジナル雑貨を制作し、実用性のある作品について学ぶ。表現力、発想力の充実を図る。 3学期 モダンテクニックの技法を習得し、それを生かした作品を制作し、表現力、発想力の充実を図る。自分自身や他者の作品鑑賞力を深める。			学習方法	作品制作だけでなく、作品鑑賞の機会を増やす。		
				備考			

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	美術Ⅰ	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 幼児教育コース						
教科書	『美術Ⅰ』（光村図書）		副教材	なし			
科目の概要	ものづくりを通してイメージ展開力を身につける。 作品を見る目を養う。イメージ展開力を更に充実させ、応用力を身につける。作品鑑賞力を深める。 合評を行い、自己分析をする。			評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
				学習方法	作品制作だけでなく、作品鑑賞の機会を増やす。		
授業内容	1学期 リベット人形、行事絵画の制作を通して正しい道具の使い方を学ぶ。			学習方法			
	2学期 オリジナル雑貨を制作し、実用性のある作品について学ぶ。表現力、発想力の充実を図る。 アニメーションの基礎を習得する。			備考			
内容	3学期 モダンテクニックの技法を習得し、それを生かした作品を制作し、表現力、発想力の充実を図る。自分自身や他者の作品鑑賞力を深める。			備考			

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	絵画	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『高校生の美術3』（日本文教）		副教材	なし			
科目の概要	本科目では、芸術鑑賞を通して知識を高め、自己の価値観を働かせ個性を生かした発想から主題や構想を練ることを学習の目標としている。 コンセプトや表現方法の選択など構想を練る過程において授業者とともに吟味し、参考資料について十分な研究を行った上で制作展開を行う。 グループによる研究発表を行う。			評価の観点	①知識・技能の習得 鑑賞で身に着けた知識や技能を応用し、発想や構想を基に自分の表現を具体化するために技法を追求することができているか ②思考力・判断力・表現力の育成 主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができているか ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち進んで表現や鑑賞に取り組むことができているか		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・提出物、ワークシート ・プレゼンテーション ・制作態度など		
	1 学期 『芸術鑑賞』の幅を研究する。 また、鑑賞におけるマナーや歴史なども学ぶ。 2 学期・3 学期 参考資料の収集・研究を十分に行った上でグループワークによる研究発表を行う。			学習方法	作品の企画立案に際して、より多くの資料を事前に研究する。主題に基づき、資料の演劇、音楽、絵画などによる芸術作品から、自身の制作において個性的な表現を模索する。		
授業内容				備考			

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	素描	単位数	4	学年	3
学科 ・ コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『高校生の美術3』（日本文教）		副教材	なし			
科目の概要	本科目は、1・2年生で培った基本的な観察力と描写力を応用し、対象や事象を多面的に捉えるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表す能力を身につけることを目標としている。 様々な描画材を用いたデッサンやクロッキーを通じて、効果的な表現方法を選択し制作の見通しをもって主題を表現する力を養う。 また自他の作品を鑑賞する中で、客観的な視点に立ち冷静に自己分析を行い自他の作品への見方や感じ方を深める。			評価の観点	①知識・技能の習得 意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるか ②思考力・判断力・表現力の育成 基本的な観察力と描写力を応用し対象や事象を多面的に捉えることができるか ③主体的に学習に取り組む態度 主体的に制作に取り組み、対象や事象から新しい発見などを引き出す豊かな感性と美意識を磨くことができるか		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
				学習方法	クロッキーの習慣化、及び作品鑑賞の機会を増やす。放課後等、自主学習も心掛ける。		
授業内容	1学期 クロッキー、鉛筆デッサンを中心に基本的描写力を踏まえ応用展開していく。3時間での描き込み、構成力の充実を図る。 2学期 1学期で身につけた描写力を更に充実させる。モノクロの描写を色に置き換え、着彩での対象の描写を学ぶ。明度を色彩に置き換え表現方法の応用を学ぶ。 3学期 1、2学期で習得した描写力、構成力を生かしイメージデッサン、構成デッサンを学ぶ。			備考			

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	美術史	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『高校生の美術3』（日本文教）	副教材	なし				
科目の概要	近代から現代に至る西洋・東洋の美術の流れの中で、特定の作家や芸術運動にスポットを当て、時代背景と共に作家や作品を紐解いていく。 グループによる研究発表を行う。	評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む				
			上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など				
			教科書、画集、映像資料から知識と情報を身につける。 美術館での鑑賞を習慣化する。				
授業内容	1学期 近・現代の美術の中から、特定の作家や、芸術運動を取り上げ、時代背景や作品を探る。 2学期 1学期の授業の流れを踏まえ、近・現代の美術の中から、特定の作家や芸術運動を取り上げ、時代背景や作品を探る。 3学期 1、2学期の授業の流れを踏まえ、近・現代の美術の中から、特定の作家や芸術運動を取り上げ、時代背景や作品を探る。	学習方法					
			備考				

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	ビジュアルデザイン		単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース							
教科書	『高校生の美術3』（日本文教）		副教材	なし				
科目の概要	デジタルによる表現技法・技術の習得により表現の幅を広げ、基礎力を身につける。知識・情報を理解しまとめ、技法・技術の取得ができるよう努力する。 合評を行い、自己分析をする。			評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む			
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など			
	授業内容	1 学期 デジタル表現の基礎1、実習1 2 学期 デジタル表現の基礎2、実習2 3 学期 1、2学期で習得したデジタル表現を基に視覚伝達力、コミュニケーション活動を身につける。			学習方法	知識・情報と技法・技術をバランスよく身につける。 様々な作品を鑑賞し考察する。		
				備考				

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	（学）造形演習	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『高校生の美術3』（日本文教）		副教材	なし			
科目の概要	既習の基礎造形力を生かしながら、さらに高い造形力を身につけるとともに、自己実現のための実技力、表現力の向上を目指す。 自己評価シートなどを基に作品を分析し、発表する。 テーマに応じて構想を生み出し、イメージを膨らませるほか、将来の目標に向かって自力で進む人間力を高める。			評価の観点	① 知識・技能の習得 テーマに応じてイメージを膨らませ、的確に表現できる企画力や構成力、表現力を身につける。 ② 思考力・判断力・表現力の育成 意図や機能性、コンセプトなどを考え、それに合わせた構想力を生み出し、自分の表現を探究する力がある。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 これまで培った基礎基本を積極的・主体的に活用し、創造活動に生かす態度を身につけている		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・ 作品 ・ 提出物、ワークシート ・ 制作態度など		
授業内容	1 学期 絵画表現、デザイン表現を身につけ、テーマに応じてイメージを膨らませ、自分の表現を探究する。 2 学期 オリジナル課題に向き合い、既習の知識や技術を用いて自分の表現を探究する。 3 学期 様々な作品や作家について考え、自分と他者、友人の表現を学び、また他者へ自分の考えや表現を共有する。			学習方法	素材や画材についての研究等の励行及び作品鑑賞の機会を増やす。 放課後等、自主学習も心掛ける。		
				備考			

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	（学）イラスト実習	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『高校生の美術3』（日本文教）		副教材	なし			
科目の概要	基本的な観察力、描写力、表現力を身に付け、様々な視点を持ち、多面的に対象を捉える応用力をつける。 自他の作品を鑑賞し、冷静に自己評価ができるよう努力する。 （アクティブラーニング） 合評を行い、自己分析をする。			評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
				学習方法	エスキースや作品鑑賞の機会を増やす。放課後等、自主学習も心掛ける。		
授業内容	1 学期 イラストレーション史とイラストに必要な基礎的な表現力を身につける。 2 学期 基礎的な表現力を基に、より幅広く応用力と表現力を身につける。 3 学期 1、2 学期の学びを基に、より深まった観察力、描画力、表現力を身につける。			備考			

2026年度 芸術科（美術）シラバス

教科	芸術科（美術）	科目	（学）卒業制作	単位数	4	学年	3
学科 ・ コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『高校生の美術3』（日本文教）		副教材	なし			
科目の概要	絵画・デザイン・イラスト・写真・工芸・立体等、自分が制作したいジャンルの各品の企画及び立案をする。 企画立案を基にエスキースや模型を制作し、本制作に移る。 作品の展示方法も提示して、プレゼンテーションの準備をする。 作品のプレゼンテーションを行う。			評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
	1学期 絵画・デザイン・イラスト・写真・工芸・立体等、自分が制作したいジャンルの各品の企画及び立案をする。 2学期 作品の企画立案に対してブラッシュアップを行い、完成予想図を具現化させ、作品制作に取り掛かる。 3学期 企画立案から、制作過程にいたる一連の流れがスムーズに行われたかを自己検証し、作品についてのプレゼンテーションを行う。 また、キャプション制作と展示の準備も行う。			学習方法	作品の企画立案に際して、より多くの資料を事前に収集し研究する。		
授業内容				備考			